

ふくしまふるさと CM 大賞 2022 伊達市にご投票を

KFB・東邦銀行第21回「ふくしまふるさとCM大賞」の一般投票が始まりました。伊達市特産の「桃」をテーマにした作品を作りましたので、皆さまご覧いただき、ぜひご投票をお願いします。

☎ 秘書広報課広報広聴係 ☎ 575-1113

【投票期間】 9月25日⑩まで (予定)

【投票方法】 KFB 福島放送のホームページからKFBアプリをダウンロードして投票してください。



投票する



作品タイトル『桃で思い出す伊達市』

あらすじ：心の支え、ふるさと伊達市が恋しいとき、私は「桃」を送ってもらいます。一口食べると…

出演：中嶋れあさん (伊達市広報部長)

だて市政だより 200号企画 広報紙アンケート

伊達市が誕生して16年、だて市政だよりは令和4年10月号(来月発行)で200号を迎えます。皆さまからのお声を200号に掲載するため、アンケートを行います。ぜひお声を聴かせてください。

☎ 秘書広報課広報広聴係 ☎ 575-1113

【回答期間】 9月9日⑤まで

【回答方法】 右の二次元コードまたは、メール、郵便などご回答ください。



回答する

質問項目

- 問1 年齢 問2 性別
問3 広報紙を読みますか (①~④から選択)
①毎号読んでいる ②ある程度読んでいる
③あまり読んでいない ④全く読んでいない
問4 楽しみにしているコーナーはありますか
問5 200号を迎えた広報紙へ一言

【お問い合わせ・回答先】

〒960-0692 伊達市保原町字船橋 180
総務部秘書広報課広報広聴係
メール: press@city.fukushima-date.lg.jp

Instagram
伊達市公式 Instagram

今月の「#いいないだて」

Instagramで「#いいないだて」がついた投稿を広報担当者が確認し、今月の「ベスト・オブ・いいないだて」を決定します。さて、今月の「いいないだて」は？



アカウント名：@maenomery_nao10さん

撮影場所：伊達市内

投稿日：8月7日

ふるさとの桃、い〜ない!
今は青森県在住の投稿者さん。帰省した時、お母さんがむいてくれた桃だそうです。「離れていても伊達が好きで、いつも応援しています!」とコメントをいただきました。

「#いいないだて」をつけて投稿しよう

皆さんが撮った、思わず「い〜ない!」と叫びたいくなる伊達の写真をお待ちしています。

伊達市公式Instagramはこちら▶



☎ 秘書広報課広報広聴係 ☎ 575-1113

#幸せがじゅずつなぎになるリレートーク

伊達市に住んでいる人が、今話したい人と対談し、実際につながりを作っていくコーナーです。誰とどのようなことを話すのか、台本はありません。

小さい頃から木工に興味があったという児島芳和さん。「木工職人さんの話が聞きたい」と訪ねたのは、糸鋸職人・三森修一さんの工房。二人には意外な共通点も…?

トークを動画で見ると見る▼



#5 三森 修一 × 児島 芳和

三森修一…昭和27年生まれ。喫茶店オーナーを10年務める間に糸鋸に出会い、月館地域に工房を設けて30年。出産祝いなどを多数手がける。児島芳和…山形県出身。地域密着の店作りを目指すアパレル店長。(撮影場所:工房 空とぶくろ(月館地域))

児島 初めまして。小さいころからの作りが好きで紹介してもらいました。三森さんは何を作っていらっしゃるのですか?
三森 組み木を30数年やってます。出産祝いが多いですね。
児島 どんなライフスタイルでお仕事してるんですか?
三森 朝、子どもたちの登校を見守って、戻ってから今日は誰のものを作ろうか考えて材料を選びます。板を一枚選ぶにも節があるや邪魔だとか、半日くらい板を探したりしてます。作り始めると早いですけどね。
児島 幼少の頃からもの作りが好きだったんですか?
三森 僕の家は洋服屋だったので、小学校に入る前からミシンで遊んでいました。糸鋸もミシンと呼ぶんです。飲食店をやっているときに小さな糸鋸に出会って、初めて触ったときの感触が忘れられなくて、ここに戻ってきて始めたんです。
児島 うらやましいです。就職を迷っていた時、自分に何があっているのか考えて決めたのがスーパードでした。おやじもスーパードだったので、今思えば

同じ道になりましたね。木工は僕の憧れです。心に残っているお客さんの反応がありますか?
三森 小さいお子さんから返事もらった時かな。それと、お母さんが頼んでくれて、その娘さんが大きくなって子どもができて、また頼んでくれたことがうれしかったですね。
児島 テーマのじゅずつなぎみたいですね。これからやりたいことはありますか?
三森 僕は子どもに関わって30年間やってきたから、子どもに関わることです。今一番興味あるのがこども食堂。子どもや地域の一人暮らしの人に対して何かできたらと考えています。
児島 地域貢献のために、スーパードも子どもたちの食の安全をしっかりと考えなきゃと思いますね。今日はお話できて楽しかったです。普段は難しい顔をしていることが多いので(笑)。
三森 僕も(笑)。物産展で「怖い顔してどうしたの?」ってお客さんに言われたりね。緊張すると怖い顔になっちゃう(笑)。
児島 分かります。意外な共通点でしたね(笑)。

次回のトーク: 渡邊祐一さん(株式会社CIA)×三森修一さん

市民の小屋